



生き生きと暮らし続けられる地域づくりを目指して連携・協力

～UR都市機構と大阪医科大学三島南病院が連携協定を締結～

独立行政法人都市再生機構（以下、「UR都市機構」といいます。）と大阪医科大学三島南病院は、玉川橋団地（大阪府高槻市）及びその周辺地域において、地域包括ケアシステムの構築に向け、令和3年1月12日（火）に連携・協力に関する協定を締結しました。

当地域において進む少子・高齢化を背景に、玉川橋団地にお住まいの高齢者への見守りや生活支援の必要性など地域課題を共有し、互いのノウハウや資源を活かして、多様な世代が生き生きと暮らし続けられる地域づくりを目指すことで一致し、連携・協力に関する協定の締結に至りました。

今後は、本協定に基づき、大阪医科大学三島南病院と連携し、健康に関する講座や相談会、地域交流イベントなどを通じて、UR都市機構が目指すミクストコミュニティの実現に向け、玉川橋団地における「地域医療福祉拠点化」（詳細は裏面参照）の取り組みをより一層進めてまいります。

■本協定に基づく連携事項

- ・最後まで住み続けられる地域づくりに関する事項
- ・健康寿命延伸に向けた健康づくりに関する事項
- ・地域コミュニティの活動や活性化支援に関する事項

お問い合わせは下記へお願いします。

UR都市機構 西日本支社

住宅経営部 ウェルフェア推進課 （電話）06-6969-9500

総務部 総務課 広報担当 （電話）06-6969-9008

■地域医療福祉拠点化とは？

UR都市機構では、多様な世代が生き生きと暮らし続けられる住まい・まち“ミクストコミュニティ”の実現を目指し、UR賃貸住宅において「地域医療福祉拠点化」を推進中。地方公共団体や自治会等の地域関係者と連携し、以下の3つの内容を総合的に実施しています。

- ①地域における医療福祉施設等の充実の推進
- ②高齢者等多様な世代に対応した居住環境の整備推進
- ③若者世帯・子育て世帯等を含むコミュニティ形成の推進

団地を資源に、まちに必要なウェルフェアを

団地の地域医療福祉拠点化

医療・介護・子育て
施設の誘致

各世代のニーズに配慮した
住宅やサービス導入

高齢者も子育て世代も
安心できるコミュニティ



詳しくは、 <https://www.ur-net.go.jp/welfare/kyoten/index.html> をご覧ください。